

<p style="text-align: center;">プレゼンテーション英語 (Presentation in English)</p>	<p style="text-align: center;">2 年 ・ 後期 ・ 2 単位 ・ 選択必修 3 専攻共通 ・ 担当 杉田 米行</p>	
	<p style="text-align: center;">〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 C-2 (80%), D-1 (20%)</p>	<p style="text-align: center;">〔JABEE 基準〕 (f), (d-2a)</p>
<p>〔講義の目的〕</p> <p>本講義の目的は、中学以来の英語文法の総復習を行い、基礎力を固め習得しながら、各ユニットで学ぶ文法事項(たとえば、不定詞、現在完了等)を重点的に用いながら、講師が指定するテーマ(たとえば、「日本のクリスマス」「奈良高専の良いところ」等)に関して各自3分間プレゼンテーションを行い、人前でプレゼンテーションをする力を高める。また、テーマの説明、仮説の説明、順序だての仕方等、基本的プレゼンテーションの「型」を習得することである。</p>		
<p>〔講義の概要〕</p> <p>テキストで文法を総復習しながら、自分でリサーチを行い、プレゼンテーションを組み立て、授業中に実際にプレゼンテーションを行っていただく。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>プレゼンテーション能力を高めるには、基本的文法を押さえながら、プレゼンテーションの「型」を習得し、それに則って行うことです。型を身に付けましょう。</p>		
<p>〔到達目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> + 基礎的な語彙力と英文法事項を習得・確認する。 + 英語らしい表現パターンを習得する。 + プレゼンテーションの型を習得する。 + 人前でプレゼンテーションをすることに慣れる。 		
<p>〔自己学習〕</p> <p>テキストの予習・復習。 NHK 番組『スーパープレゼンテーション』などを見て、英語によるプレゼンテーションに触れておく。</p>		
<p>〔評価方法〕</p> <p>予習をした上での授業への参加(70%)、試験(30%) 尚、受講中に TOEIC、英検等で優秀な成績をとった人にはエクストラポイント付与致します。 ただし、2015 年度前期に「アジア地区交流協定校学生との相互交流を通じた専攻科生のグローバル教育プログラム」に参加が決定した学生は、第2週から第14週を免除する。</p>		
<p>〔教科書〕</p> <p>+ 山西敏博・杉田米行著『15 週間で英語力倍増』(大学教育出版、2014)</p> <p>〔参考書〕</p> <p>+ 杉田英語問題データベース(随時プリント等にして配布)。</p>		
<p>〔関連科目・学習指針〕</p> <p>辞書をひきながら、予習をしっかり行ってください。 毎日英語を聴き、その記録をつけること。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価*
第1週	イントロダクション	授業概要の説明、受講生との意見交換	
第2週	現在完了形・過去完了形	基礎的プレゼンテーションの練習1	
第3週	助動詞・態	基礎的プレゼンテーションの練習2	
第4週	不定詞・分子	基礎的プレゼンテーションの練習3	
第5週	まとめのテスト・実力テスト#1	到達度確認	
第6週	動名詞・関係代名詞(1)	初級プレゼンテーション型1	
第7週	関係代名詞(2)・関係副詞	初級プレゼンテーション型2	
第8週	Itの用法・無生物主語・名詞構文	初級プレゼンテーション型3	
第9週	比較・仮定法	初級プレゼンテーション型4	
第10週	まとめのテスト・実力テスト#2	到達度確認	
第11週	願望をあらわす英語表現	中級プレゼンテーション型1	
第12週	目的・結果をあらわす英語表現	中級プレゼンテーション型2	
第13週	原因・理由をあらわす英語表現	中級プレゼンテーション型3	
第14週	否定をあらわす英語表現	中級プレゼンテーション型4	
第15週	期末試験	期末試験を行うと共に必要な学生さんと面談	

*4:完全に理解した, 3:ほぼ理解した, 2:やや理解できた, 1:ほとんど理解できなかった, 0:まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)